

質問2 避難拠点運営連絡会や防災会においても、地域別防災マップを活用した訓練を取り入れることを提案。

答弁 新たな避難情報について、6月に水害ハザードマップを改訂するとともに、区のホームページで周知した。特に水害リスクの高い地域には水害への備えなどに加え、避難行動支援者制度を記載したチラシを出水期前に個別配布している。

質問1 区民に対する避難情報の周知・啓発について

答弁 の区の取組みは。

水害対策について

練馬区議会定例会 一般質問で登壇

(質問概要)

下記の二次元コードからもご覧いただけます

令和3年第三回 練馬区議会定例会 一般質問で登壇



田中よしゆき

3期

質問2 JAあおばや農業委員会と連携し、農地の継承に繋がるよう、積極的に取り組んでいく。

答弁 都市計画交付金の制度を活用し、また財源確保に務め緑のネットワーク形成に取り組んでいく。

質問2 生産緑地の貸借制度の周知啓発

質問1 樹林地は憩いの森に指定されていなくとも、区が取得する基準を拡大し、積極的に取得していく

答弁 避難拠点運営連絡会や防災会に働きかけ、マップを活用して訓練を実施し、地域防災力の向上に取り組んでいく。

みどり施策について

常任委員会 都市整備委員会 委員
特別委員会 交通対策等特別委員会 委員長
各種委員会 財産価格審議会(土地評価審議会兼務) 委員
所属団体
・上石神井町会 役員 ・青少年育成上石神井地区委員会 顧問 ・石神井消防団第4分団 団員 ・上石神井離子連中 ・元、上石神井小学校PTA会長 ・元、練馬区青少年委員 他
学歴
・閑町白百合幼稚園卒園 ・成蹊小・中・高等学校卒業 ・中央大学商学部会計学科卒業
職歴
・東京都民銀行 約10年 ・練馬上石神井北郵便局長 11年 ・平成26年4月20日 初当選 ・平成27年4月26日 2期目当選 ・平成31年4月21日 3期目当選
PROFILE
生年月日
・昭和43年7月17日

質問1 事業認可の取得に向け、都との調整を含め今後どのような取り組みを進めいくのか。

答弁 令和4年度から5年度の事業許可の取得に向けて取り組んでいる。

質問2 現在の各駅のまちづくり協議会の開催状況は。また、これまでと同じような方法で検討が進められているのか。

答弁 コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、協議の内容に応じ、適切な方法を組み合わせて実施している。開催方法を工夫・見直しながら、地域とともに取り組んでいく。

質問1 事業認可の取得に向け、都との調整を含め今後どのような取り組みを進めいくのか。

質問2 今后もコロナ感染状況に応じた機動的な対応を継続して頂きたい。同時に、不安に思っている保護者も沢山いることから、積極的に保護者に情報発信すべき。またオンライン授業を望む保護者への対応は。

質問3 若手教員のみならず、中堅・ベテランの教員の指導力を、どのように向上させていくのか。

答弁 教員のキャリアに応じた研修内容を充実し、全ての職員の指導向上に努めていく。

質問2 今後もコロナ感染状況に応じた機動的な対応を継続して頂きたい。同時に、不安に思っている保護者も沢山いることから、積極的に保護者に情報発信すべき。またオンライン授業を望む保護者への対応は。

質問1 修学旅行や移動教室の「実施見合せ」という方針に至った経緯や考え方は。

答弁 緊急事態宣言中は、子供たちの安全を第一に考え、実施は見合わせることとした。

教育について

質問1 医療的ケア児を持つ保護者が、保育所等に通わせたいという声も多い。区内の保育所における医療的ケア児の現状と区の取り組みは。

答弁 区立直営8園の障害児枠で受け入れており、現在5人が在園している。医療的ケア児が保育所等に入園やすい体制について検討していく。

質問2 医療的ケア児を持つ保護者が、保育所等に通わせたいという声も多い。区内の保育所における医療的ケア児の現状と区の取り組みは。

子育て施策について

質問1 来年4月の入園に向けて370人分の保育所定員増を目標に掲げ、取組を進めているとの事だが進捗状況は。

答弁 新たに7か所、381人分の定員増を行う予定。さらに、3歳の壁の解消に必要となる2歳児から3歳児クラスの段差定員の確保を進めていく。

質問2 高齢者の福祉について

質問1 高齢者が、選ぶ楽しみ、貰う楽しみを持つ敬老祝品を。

答弁 今回の取り組みの検証を行った上で、練馬区の特色を生かした商品を楽しみながら選んでもらえるよう検討していく。

質問2 健康で長生きをしていただくため、コロナ禍にあっても、全ての高齢者が、少しでも楽しみを見出し、生きる喜びを感じられるような取り組みをしていくことが必要。

質問1 高齢者が様々な形で交流できる工夫を行い、コロナ禍であっても誰もが生きる喜びを感じられるよう、取り組んでいく。

質問2 高齢者のがんばりが、誰もが生きる喜びを感じられるよう、取り組んでいく。

質問3 若手教員のみならず、中堅・ベテランの教員の指導力を、どのように向上させていくのか。

答弁 教員のキャリアに応じた研修内容を充実し、全ての職員の指導向上に努めていく。

質問2 今後もコロナ感染状況に応じた機動的な対応を継続して頂きたい。同時に、不安に思っている保護者も沢山いることから、積極的に保護者に情報発信すべき。またオンライン授業を望む保護者への対応は。

質問1 修学旅行や移動教室の「実施見合せ」という方針に至った経緯や考え方は。

答弁 緊急事態宣言中は、子供たちの安全を第一に考え、実施は見合わせることとした。

教育について

質問1 高齢者の福祉について

質問2 高齢者が、選ぶ楽しみ、貰う楽しみを持つ敬老祝品を。

答弁 今回の取り組みの検証を行った上で、練馬区の特色を生かした商品を楽しみながら選んでもらえるよう検討していく。

質問2 健康で長生きをしていただくため、コロナ禍にあっても、全ての高齢者が、少しでも楽しみを見出し、生きる喜びを感じられるような取り組みをしていくことが必要。

質問1 高齢者が様々な形で交流できる工夫を行い、コロナ禍であっても誰もが生きる喜びを感じられるよう、取り組んでいく。

質問2 高齢者ががんばりが、誰もが生きる喜びを感じられるよう、取り組んでいく。

質問3 若手教員のみならず、中堅・ベテランの教員の指導力を、どのように向上させていくのか。

答弁 教員のキャリアに応じた研修内容を充実し、全ての職員の指導向上に努めていく。

質問2 今後もコロナ感染状況に応じた機動的な対応を継続して頂きたい。同時に、不安に思っている保護者も沢山いることから、積極的に保護者に情報発信すべき。またオンライン授業を望む保護者への対応は。

練馬区議会自民党 議会レポート



T 176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 URL <http://www.nerima-jimin.com>
TEL 03-5984-1012 FAX 03-3993-1190 MAIL nerima.jimin@jcom.home.ne.jp

TOPICS

- ▶ 令和4年度 練馬区当初予算及び各事業に対する要望書提出!!
- ▶ 4名が代表して、一般質問を行いました。
- 小泉じゅんじ議員、上野ひろみ議員、
田中よしゆき議員、かわすみ雅彦議員

令和4年度 練馬区当初予算及び各事業に対する要望書提出!!

予算要望書を区長に提出!

第三回定例会が始まる前日の9月9日、区議会自民党は令和3年度当初予算に向け、地域、各種団体（約60団体）の要望を踏まえ、政策提言書として区長に提出しました！



（撮影のため一時的にマスクを外しました）

要望書内容（抜粋）

- ① “練馬区モデル”に基づいたワクチン接種による区民が安心して暮らせる日常の確保と、これまで以上の感染防止対策への必要な施策の充実。
- ② 地域医療体制の確立、区内病床数の確保、周産期医療・小児医療・救急医療の充実・強化。
- ③ 区内事業者の育成と事業継続強化をし、更に産業振興策、都市農業振興策を拡充。
- ④ 外環道・西武新宿線池袋線連続立体交差化や大江戸線延伸を中心としたインフラ・交通機関の早期整備。
- ⑤ 高齢者・障害者施策の充実を中心とした健康福祉施策の更なる充実。
- ⑥ 総合的な子育て支援の拡充、ICTを活用した学習環境の整備と学力・体力向上支援策の強化。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症収束後の経済対策は前例にとらわれることなく、経済や区民生活への影響を注意深く見極め、各方面からの要望を踏まえ、可及的速やかな実行。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症収束後の生活困窮者の増加が見込まれるため、積極的な対応。



一般質問
にて

区政を問う!!

4名が一般質問を行いました。

小泉じゅんじ 議員、上野ひろみ 議員、
田中よしゆき 議員、かわすみ雅彦 議員

- 区長の基本的な姿勢について
- 東京オリンピック・パラリンピック大会について
- 区の産業支援について
- 「成果連動型民間委託契約方式」について
- 介護保険について ● 高齢者施策について
- スポーツ振興について
- 清掃リサイクル事業について ● 田柄川緑道について
- 平和台駅環八横断地下通路について
- 水害対策について ● みどり施策について
- 西武新宿線連続立体交差事業及び沿線まちづくりについて ● 子育て施策について
- 教育について ● 高齢者の福祉について
- 区内医療体制について ● 在宅医療体制について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 自然災害対策について